



あなたのねこちゃん、最近こんな様子は見られませんか？



体重が
急に減って
きた...

さわると
しこりのような
ものがある...

もしかしたら **がん** かもしれません。

どんな
病気?

体にできた悪性の腫瘍が徐々に大きくなったり、
全身に転移したりして、命にかかわることがある病気。



乳がんのため、乳腺にしこり(腫瘍)ができた猫のイメージ。お腹の毛は剃っています。

主な種類

人間同様に、体のあらゆる部分にできる可能性がありますが、特に猫に多く見られるのは、

- 血液のがんである「リンパ腫」
- おもにメスの乳腺にできる「乳がん」
- 皮膚型と内臓型がある「肥満細胞腫」
- 顔にできやすい「扁平上皮がん」
などがあります。

主な症状

- 体に腫れ、しこり、できものができる
- 食欲がなくなる、体重が減る
- 下痢、嘔吐が続く

早期発見のために、スキンシップをしながら、猫の全身を触ったり観察したりすることをおすすめします。お腹などをさり気なくで、指に意識をおいて、しこりの膨らんだ感触がないか確認しましょう。

対処法

治療は、がんの種類によって違いますが、腫瘍を切除する「外科手術」、腫瘍を小さくして延命効果を高める「放射線療法」、抗がん剤などを使う「化学療法」の3つがあります。近年では副作用の少ない化学療法で、がん細胞にのみ作用する「分子標的薬」も使われるように。こちらは猫の場合、肥満細胞腫の治療に効果が期待されています。健康診断の際にがんが見つかるケースもあります。年に1回(シニア猫は半年に1回)を目安に、健康診断を受けましょう。



ねこの病気、そこが知りたい! は「ねこのきもち」で連載中!

●こちらは、過去に掲載した記事を再編集したものです。

アニコム損保ご契約者が
マイページから定期購読を申込みと
2号 (2ヶ月分) **無料!!**